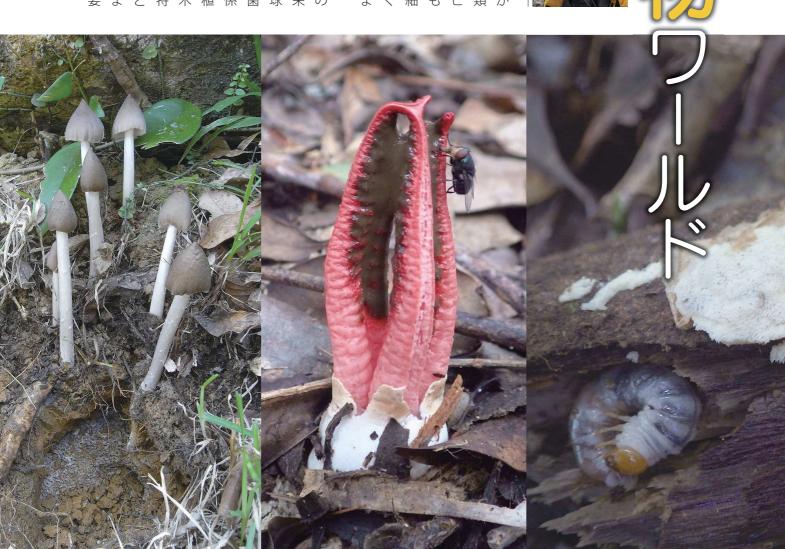
特集

国立科学博物館 植物研究部 細矢



さて、菌類をはじめとした微生物は森林では何をしているのさて、菌類をはじめとした微生物は森林では何をしているのお掃除屋さん』と考えられてきました。つまり、菌類は"地球物を育て(きのこは「木の子」ではなく、本当は木を育てる「木物を育て(きのこは「木の子」ではなく、本当は木を育てる「木物を育て(きのこは「木の子」ではなく、本当は木を育てる「木の親」なのです)、カビは生きた植物を攻撃し、様々な動物(特に昆虫)とも関係を持っているのです。バクテリアや線虫などに昆虫)とも関係を持っているのです。バクテリアや線虫などに昆虫)とも関係を持っているのです。バクテリアや線虫などに昆虫)とも関係を持っているのです。バクテリアや線虫などに昆虫)とも関係を持っているのです。バクテリアや線虫などでしょうか。長い間、菌類は森林の動植物の遺体を分解して栄養を得ている。と考えられてきました。つまり、菌類は、地球やでしょうか。



左:オオシロアリタケ、シロアリが栽培。中:ヨツデタケ、ハエが胞子を散布。右:クワガタムシの幼虫、菌による腐朽材を餌にする。